

1997年度翔友会総会報告

7月19日(土)新島会館に於て、本年度総会が開催され、橋本元雄氏の開会の辞、小野 哲会長の挨拶に続いて議事に入り、以下の通り、報告決議があった。

議 事

- 1 本年度新入会員紹介 8名
- 2 新入部員紹介 5名
1996年度航空部活動報告(46頁参照)
1996年度航空部会計報告(47頁参照)
- 3 1996年度翔友会会計報告(44頁参照)
- 4 ご高齢会員の年会費免除について
永年にわたる翔友会へのご貢献に鑑み、70歳以上の会員については、本年度から会費を免除することとする。
- 5 翔友会幹事の改選について
翔友会では、50周年記念事業を推進するために58名の幹事を選任し、今日迄、お世話を頂き、翔友会の運営にご協力頂きましたが、当初より10年余を経過し、諸般の事情も変化してきましたので改選の時期と考え、幹事長より、42名の新幹事候補を推薦したところ、全員同意なく了承されました。

新幹事

橋本 元雄(16) 牧野鐵五郎(19) 吉川 禎一(30) 渡辺 洋一(30) 喜田 益生(33)
三浦 智介(36) 向井 清人(36) 政 志郎(37) 窪田 昌三(39) 石元 勲(40)
樺島紳一郎(40) 玉井 利宏(40) 一圓 億夫(42) 河盛 啓晏(42) 竹鼻 信昭(43)
南村 清治(45) 加藤 寛(46) 大久保雅史(47) 山井 博起(47) 西山 靖郎(48)
土田 正明(49) 速見 直喜(49) 宮原 幸春(49) 黒田 能弘(52) 野崎 純一(52)
北林 英之(59) 金石 真一(59) 坂口 裕之(59) 田中 貴裕(59) 新庄 博志(62)
松岡 慎二(62)

浮田 勝成(H 1) 太田 泰史(H 1) 森 聡一郎(H 1) 山本 康(H 3)
玉井 克典(H 4) 三田村宏明(H 5) 今川 隆文(H 7) 瀬川 貴之(H 7)
田中 輝明(H 8) 赤瀬 正洋(H 9) 増田 拓郎(H 9)

- 6 その他翔友12号の発刊や、スポーツユニオン関係の報告がされ、また、部員数減少による航空部運営の困難化への財政的援助の方法や、現役時代に多額の借金を滞納したまま卒業している OB に対する対応等は、幹事会に一任して議事を終了した。

翔友会会計報告

1996 1. 1～1996 12.31

収 入 の 部		支 出 の 部	
前期より繰越	589,945	通 信 費	379,225
会 費(147名)	1,490,000	カレンダー	130,000
広 告(2名)	20,000	広 告 費	35,000
名簿返金	5,000	事 務 費	10,914
利 息	316	スポーツユニオン名簿	120,000
		スポーツユニオン	30,110
合 計	2,105,261		705,249
		次期繰越金	1,400,012
		定期預金積立	2,342,913
内 訳			
現 金	-98,503		
普通預金	1,088,530		
郵便振替	409,985		

小 野 哲 ㊟
 会計 西 山 靖 郎 ㊟

翔友会財産目録

西山会計管理	定期預金(三和銀行京都支店)	2,342,913	小 野 基 金
	〃 (〃)	1,000,000	
	現 金	-98,503	
	普通預金(三和銀行京都支店)	1,088,530	
	郵便貯金	409,985	
	合 計	4,742,925	
速見幹事管理	定期預金(三和針中野支店)	1,378,169	奨 励 基 金
	普通預金(〃)	546,292	
	合 計	1,924,461	
三田村幹事管理	定期預金(富士銀行茨木支店)	1,782,294	60周年余金
	現 金	4,082	
	合 計	1,786,376	
総 額		8,453,762	

60周年記念事業収支報告

収 支		支 出	
募 金 (134名)	3,900,000	翔友記念号製作費	1,483,612
祝賀会会費	915,000	会 場 支 払	913,127
利 息	412	記 念 品 等	271,672
		祝賀会準備費用	44,429
		復元の会銘板製作	103,257
		通 信 費	212,939
		剩 余 金	1,786,376
合 計	4,815,412	合 計	4,815,412

剰余金は、復元した二機を天井吊下げして永久保存することと、格納庫内の現役BOXに2階を増築し、OB用BOXを作る計画を、大学当局と折衝中であるが、その費用の一部として留保する。

準備委員会会計 三田村宏明

復元する会会計報告

収 入 の 部		支 出 の 部	
寄 付 金 (20名)	371,000	通 信 費(葉書、切手)	1,950
利 息	823	工 具 代	48,068
		材 料 代(航空ベニア、檜材、 アクリル板)	81,163
		塗 料 代(ドーブ、シンナー、 ニス)	153,489
		消耗品代(刷毛、接着剤、ビス、木 ネジ、サンドペーパー)	77,759
		雑 費(大工大プライマリー 見学手土産、写真代)	4,121
合 計	371,823	合 計	366,550

平成8年10月14日現在 残高5,273円

剰余金の5,273円は、復元する会打上げの
ビール代補助として使いました。

復元する会 会 長 牧野鐵五郎㊞

事務局 窪田 昌三㊞

航空部活動報告(平成8年4月～平成9年3月)

平成8年

4月1日～6日	新入生勧誘期間 ASK-23 展示 男子1名入部	於：田辺校地
4月13日～20日	同志社4月合宿(総発航回数172発)	於：木曽川滑空場
5月11日～15日	同志社5月合宿(総発航回数71発)	於：福井空港
5月25日	新人歓迎コンパ	於：遊心
6月6日～13日	同志社・関大合宿(総発航回数166発)	於：木曽川滑空場
7月6日	現役部員主催60周年記念行事 『航空部の歴史を振り返る座談会』 一橋本・牧野・窪田先輩を囲んで一	於：田辺会議室
7月30日	花火大会	於：出町柳鴨川
8月13日～19日	同志社8月合宿(総発航回数216発) ASK23 (JA2354) 耐空検査合格	於：木曽川滑空場
9月4日～8日	同志社9月合宿(総発航回数101発) Ka6E (JA2096) 耐空検査合格	於：福井空港
9月14日	現役部員主催60周年記念行事『校祖墓参』	
9月29日	ASK13 (JA2256) 耐空検査合格	於：福井空港
10月13日	同志社大学航空部60周年記念祝賀会	於：田辺厚生年金会館
10月20日～28日	東海関西学生グライダー競技会	於：福井空港
10月31日		
～11月4日	同志社・立命館対抗グライダー競技会 立命優勝	於：福井空港
11月26日～30日	同志社・名城合宿(総発航回数88発)	於：木曽川滑空場

平成9年

2月11日～16日	同志社・関外大合宿(総発航回数190発)	於：木曽川滑空場
3月2日～9日	第37回全日本学生グライダー競技会	於：妻沼滑空場
戦績	団体 7位 個人 赤瀬正洋(4年)10位 原田明(4年)25位	
3月22日	卒業生追い出しコンパ	於：遊心

資格状況

自家用操縦士	赤瀬正洋(4年) 増田拓郎(4年) 原田明(4年) 下向幸雄(4年) 今宿昇一(3年) 小谷名保恵(3年)
--------	--

認定ウインチマン	赤瀬正洋(4年) 増田拓郎(4年) 今宿昇一(3年)
----------	----------------------------

同志社大学航空部平成8年度会計報告

平成8年1月1日～平成8年12月31日

収 入		支 出	
前期繰り越し金	427,000	用具購入費	196,000
学友会預託金	808,000	維持費	1,084,000
学外施設援助金	200,000	練習費	37,000
OBの寄付	100,000	消耗品費	25,000
損害保険料補助金	120,000	事務費	17,000
保険料(JA2096)	200,000	通信費	115,000
“ (JA2256)	130,000	記念費	63,000
“ (JA2354)	286,000	渉外費	14,000
交通費補助金	120,000	連盟費	359,000
部費	770,000	特別支出	37,000
ノルマ	360,000	交通費	95,000
		東海関西援助金	40,000
		情宣費	4,000
		資料費	43,000
		師範謝礼費	131,000
		現役部員滞納	617,000
3,521,000		2,877,000	

単位千円/千円未満切り捨て

同志社大学航空部会計 小谷名保恵

資 産

・現金	644,000
・機体積立金	4,142,000
・OB滞納総額	3,040,000
・OB滞納返し	1,916,000

*収入の各機体に対する保険金の対象は以下による。

JA2096→平成6年度同立戦地上運搬中の胴体破損

256→平成7年学連霧ガ峰合宿でのテールスキッド破損

354→平成7年8月合宿でのハードランディングによる風防破損

編集後記

- 60周年記念事業が終って、既に6カ月以上経過しました。個人的には結婚したこともあり、非常に慌ただしい日々でしたが、過ぎてしまえばさびしい気もします。関西に居る間は、精一杯頑張ります。(ホンマやろか?一寸自信なし)。(松岡)
- 編集委員になり日もまだ浅いが、日頃本誌に感じていること。空への情熱をこれほど凝縮した本がこの世に他にあるだろうか。しかもその執筆者が翔友会会員という限られた人数であるというのに。凄いという一語に尽きると思う。(H. K)
- 復元作業が終了して数カ月、シンナーの香りが恋しくなり、プラモデル製作を復活。現在、月産4機のペースで量産中。さて「翔友」もXII号となり「編集方針をかえよう」をモットーに社会人になってから、空モノを楽しんでいるレポートを数多く取り上げていきたいとおもいますので、写真、原稿をお寄せ下さい。(加藤)
- 編集委員長いつも、任せっぱなしですいません。校正のお手伝い?だけで何時も期限遅れで役に立っていないと思います。企画や思考するより行動する方が得意とする小生ですので悪しからず御了承下さい。60周年記念事業が成功裡に終り良かったと思っていますが、気がぬけてしまっ。(大久保)
- 創部60周年を越え、OBの数も増え考え方も多様化している翔友会になってきているものと考えています。『翔友』も読者のニーズに応える編集が望まれていると感じていますので、これからも微力を尽くしたいと考えております。できれば現役学生の競技会での活躍特集を紙面上で皆様にお伝えできる日を期待しています。(N)
- 2月末原稿締切り、3月1日編集開始。直後に母入院。医師の「インフォームドコンセント」とか、患者の「クオリティオブライフ」という言葉は、知ってはいたが他人事と思っていた。各校の所有機には、1機毎にそれに託した夢があり、ドラマがある。「友校の頁」に代る新連載「うちの機体」で、どんな熱き想いが語られるか。(S. K)

翔友 XII <非売品>

平成9年8月8日 発行

編集 翔友会

発行 同志社大学体育会航空部

印刷 河北印刷株式会社

京都市南区唐橋門脇町28番地